

みずほ中国 ビジネス・エクスプレス（第669号）

2023年7月14日 | みずほ銀行（中国）有限公司 中国アドバイザー一部

～政策関連～

平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

■ 注目トピックス

国家発展改革委員会など、23年版工業重点分野のエネルギー効率基準を公表

国家発展改革委員会は2023年7月4日、工業情報化部など4部門と連名で『工業重点分野のエネルギー効率の模範水準と基準水準（2023年版）』を公表しました。23年版基準は9産業36分野に対し、エネルギー効率（1製品単位当たりのエネルギー消費量）の模範水準と基準水準を定めており、模範水準ではより厳しい消費量の削減を求めました。石油精製や鉄鋼、板ガラス、コークスなど従来の25分野は25年末までに、エチレングリコールや、ラジアルタイヤ、トイレトペーパー・ティッシュの原紙など追加11分野は26年末までに、基準達成のため設備更新か設備廃棄の完了を目指すとしています。

■ 直近の重要政策

貿易政策

- ✓ **商務部、税関総署公告 2023年第23号 ガリウム、ゲルマニウム関連品目に対する輸出規制の実施に関する公告**
（商務部など、7/3）

産業政策

- ✓ **『乗用車企業の平均燃費と新エネ車クレジットの並行管理弁法』の改定に関する決定**
（工業情報化部など、6/29）



MIZUHO

瑞穂銀行

—— WeChat公式アカウント ——

■ 注目トピックス

国家発展改革委員会など、23年版工業重点分野のエネルギー効率基準を公表

国家発展改革委員会は2023年7月4日、工業情報化部、生態環境部、国家市場監督管理総局、国家エネルギー局と連名で『工業重点分野のエネルギー効率の模範水準と基準水準(2023年版)』¹⁾(以下、23年版基準)を公表しました。23年版基準は『エネルギー消費抑制の強化による重点分野における省エネと炭素排出削減の推進に関する若干意見』に基づいたものであり、重点工業分野のエネルギー効率(1製品単位当たりのエネルギー消費量)の模範水準と基準水準を定めました。模範水準では基準水準より厳しい消費量の削減を求めています。これにより、『「高エネルギー消費産業の重点分野におけるエネルギー効率の模範水準と基準水準(2021年版)」の公表に関する通知』(以下、21年版基準)は廃止となりました。

21年版基準に比べ、対象は従来の25分野から36分野に増加しました。石油精製や鉄鋼、板ガラス、コークスなど従来の25分野は原則、25年末までに、合成繊維の原料となるエチレングリコールや、ラジアルタイヤ、トイレトペーパー・ティッシュの原紙など追加11分野は原則、26年末までに基準達成のため設備更新か設備廃棄を完了する必要があるとしています。

23年版基準の主な内容については以下図表1をご参照ください。

【図表1】23年版基準の主な内容

No	産業	重点分野	エネルギー消費の模範水準と基準水準	
1	紡織	★綿、化繊及び混紡織物	✓ 模範水準：28kgce ²⁾ /100m ✓ 基準水準：36kgce/100m	
		★ニット、糸	✓ 模範水準：1.0tce ³⁾ /t ✓ 基準水準：1.3tce/t	
2	製紙	★トイレトペーパー・ティッシュの原紙 ⁴⁾	木材パルプ ✓ 模範水準：450kgce/t ✓ 基準水準：520kgce/t	
			非木材パルプ ✓ 模範水準：510kgce/t ✓ 基準水準：560kgce/t	
3	石油、石炭などの加工	石油精製	✓ 模範水準：7.5kgoe/tEf ⁵⁾ ✓ 基準水準：8.5kgoe/tEf	
		コークス	トップチャージ式コークス炉	✓ 模範水準：110kgce/t ✓ 基準水準：135kgce/t
			スタンプチャージ式コークス炉	✓ 模範水準：110kgce/t ✓ 基準水準：140kgce/t
		メタノール	褐炭	✓ 模範水準：1,550kgce/t ✓ 基準水準：2,000kgce/t
			有煙炭	✓ 模範水準：1,400kgce/t ✓ 基準水準：1,800kgce/t
			▲無煙炭	✓ 模範水準：1,250kgce/t ✓ 基準水準：1,500kgce/t
		オレフィン	エチレンとプロピレン	✓ 模範水準：2,800kgce/t ✓ 基準水準：3,300kgce/t
エチレングリコール	▲合成ガス経由	✓ 模範水準：1,000kgce/t ✓ 基準水準：1,300kgce/t		

¹⁾ 中国語原文は下記のURLよりダウンロードできます。

https://www.ndrc.gov.cn/xxgk/zcfb/tz/202307/t20230704_1358113.html

²⁾ kgce：標準石炭換算キログラム。

³⁾ tce：標準石炭換算トン。

⁴⁾ TAD (Through Air Dry) 方式で製造された紙製品を含まない。

⁵⁾ kgoe：石油換算キログラム。tEf：トン・エネルギー変換係数 (Energy Factor)。

【図表1】23年版基準の主な内容（続き）

No	産業	重点分野	エネルギー消費の模範水準と基準水準	
4	化学原料及び化学品の製造	水酸化ナトリウム	イオン交換膜法を用いた水酸化ナトリウム溶液（濃度 \geq 30%）	✓ 模範水準：315kgce/t ✓ 基準水準：350kgce/t
			イオン交換膜法を用いた水酸化ナトリウム溶液（濃度 \geq 45%）	✓ 模範水準：420kgce/t ✓ 基準水準：470kgce/t
			イオン交換膜法を用いた水酸化ナトリウム（濃度 \geq 98%）	✓ 模範水準：620kgce/t ✓ 基準水準：685kgce/t
		炭酸ナトリウム	アンモニアソーダ法（軽質）	✓ 模範水準：320kgce/t ✓ 基準水準：370kgce/t
			▲塩安ソーダ法（軽質）	✓ 模範水準：160kgce/t ✓ 基準水準：200kgce/t
			★炭酸化法（軽質）	✓ 模範水準：410kgce/t ✓ 基準水準：440kgce/t
			★熱分解法（軽質）	✓ 模範水準：360kgce/t ✓ 基準水準：390kgce/t
			▲アンモニアソーダ法（重質）	✓ 模範水準：365kgce/t ✓ 基準水準：420kgce/t
			▲塩安ソーダ法（重質）	✓ 模範水準：205kgce/t ✓ 基準水準：250kgce/t
			★炭酸化法（重質）	✓ 模範水準：455kgce/t ✓ 基準水準：490kgce/t
			★熱分解法（重質）	✓ 模範水準：405kgce/t ✓ 基準水準：440kgce/t
			炭化カルシウム	✓ 模範水準：805kgce/t ✓ 基準水準：940kgce/t
		エチレン	ナフサの炭化水素混合物	✓ 模範水準：590kgce/t ✓ 基準水準：640kgce/t
			パラキシレン	✓ 模範水準：380kgce/t ✓ 基準水準：550kgce/t
			★エチレングリコール	✓ 模範水準：375kgce/t ✓ 基準水準：470kgce/t
			黄リン ⁶	✓ 模範水準：2,300kgce/t ✓ 基準水準：2,800kgce/t
		合成アンモニア	良質無煙炭	✓ 模範水準：1,100kgce/t ✓ 基準水準：1,350kgce/t
			一般無煙炭	✓ 模範水準：1,200kgce/t ✓ 基準水準：1,520kgce/t
			微粉炭	✓ 模範水準：1,350kgce/t ✓ 基準水準：1,550kgce/t
			天然ガス	✓ 模範水準：1,000kgce/t ✓ 基準水準：1,200kgce/t
		★尿素	蒸気タービン	✓ 模範水準：150kgce/t ✓ 基準水準：170kgce/t
			電動ポンプ	✓ 模範水準：138kgce/t ✓ 基準水準：165kgce/t

⁶ 焼結または焙焼で製造する場合は700kgce/tを上乗せる。

【図表 1】 23 年版基準の主な内容（続き）

No	産業	重点分野	エネルギー消費の模範水準と基準水準	
4	化学原料 及び化学 品の製造	リン酸一アンモニ ウム	乾式法（粒子）	✓ 模範水準：255kgce/t ✓ 基準水準：275kgce/t
			乾式法（粉末）	✓ 模範水準：240kgce/t ✓ 基準水準：260kgce/t
			湿式法（粒子）	✓ 模範水準：170kgce/t ✓ 基準水準：190kgce/t
			湿式法（粉末）	✓ 模範水準：165kgce/t ✓ 基準水準：185kgce/t
		リン酸二アンモニ ウム	乾式法（粒子）	✓ 模範水準：250kgce/t ✓ 基準水準：275kgce/t
			湿式法（粒子）	✓ 模範水準：185kgce/t ✓ 基準水準：200kgce/t
		★二酸化チタン	硫酸法ルチル型	✓ 模範水準：1,000kgce/t ✓ 基準水準：1,300kgce/t
			硫酸法アナターゼ型	✓ 模範水準：800kgce/t ✓ 基準水準：1,000kgce/t
			塩素法	✓ 模範水準：900kgce/t ✓ 基準水準：950kgce/t
		★ポリ塩化ビニル	カーバイド法（硬質）	✓ 模範水準：193kgce/t ✓ 基準水準：270kgce/t
			カーバイド法（ペースト）	✓ 模範水準：450kgce/t ✓ 基準水準：480kgce/t
			オキシクロリネーション法 （硬質）	✓ 模範水準：620kgce/t ✓ 基準水準：635kgce/t
			オキシクロリネーション法 （ペースト）	✓ 模範水準：950kgce/t ✓ 基準水準：1,100kgce/t
		★高純度テレフタル酸（PTA）		✓ 模範水準：80kgce/t ✓ 基準水準：180kgce/t
5	化学繊維	★ビスコース短繊維	✓ 模範水準：800kgce/t ✓ 基準水準：950kgce/t	
6	ゴム及び プラスチ ック製品	★タイヤ	スチールラジアルタイヤ	✓ 模範水準：235kgce/t ✓ 基準水準：340kgce/t
			半鋼製ラジアルタイヤ	✓ 模範水準：290kgce/t ✓ 基準水準：430kgce/t
7	非金属	クリンカー	✓ 模範水準：100kgce/t ✓ 基準水準：117kgce/t	
		板ガラス（生産能力：800t/日超）	✓ 模範水準：8kgce/重量箱 ✓ 基準水準：12kgce/重量箱	
		板ガラス （生産能力：500t/日以上、800t/日以下）	✓ 模範水準：9.5kgce/重量箱 ✓ 基準水準：13.5kgce/重量箱	
		タイル（吸水率：0.5%以下）	✓ 模範水準：4kgce/m ² ✓ 基準水準：7kgce/m ²	
		タイル（吸水率：0.5%超、10%以下）	✓ 模範水準：3.7kgce/m ² ✓ 基準水準：4.6kgce/m ²	
		タイル（吸水率：10%超）	✓ 模範水準：3.5kgce/m ² ✓ 基準水準：4.5kgce/m ²	
		衛生陶器	✓ 模範水準：300kgce/t ✓ 基準水準：630kgce/t	

【図表1】23年版基準の主な内容（続き）

No	産業	重点分野	エネルギー消費の模範水準と基準水準	
8	鉄合金及び 圧延加工	鉄鋼（高炉）	✓ 模範水準：361kgce/t ✓ 基準水準：435kgce/t	
		鉄鋼（転炉）	✓ 模範水準：-30kgce/t ✓ 基準水準：-10kgce/t	
		鉄鋼 （アーク炉）	容量：30t 超、50t 未満	✓ 模範水準：67kgce/t ✓ 基準水準：86kgce/t
			容量：50t 以上	✓ 模範水準：61kgce/t ✓ 基準水準：72kgce/t
		▲ケイ素鉄	✓ 模範水準：1,770kgce/t ✓ 基準水準：1,850kgce/t	
		シリコマンガ	✓ 模範水準：860kgce/t ✓ 基準水準：950kgce/t	
		高炭素フェロクロム	✓ 模範水準：710kgce/t ✓ 基準水準：800kgce/t	
9	非鉄金属及 び圧延加工	銅製錬（銅精鉱→純銅）	✓ 模範水準：260kgce/t ✓ 基準水準：380kgce/t	
		粗銅（銅精鉱→粗銅）	✓ 模範水準：140kgce/t ✓ 基準水準：260kgce/t	
		粗銅の電解精錬（銅精鉱→粗銅）	✓ 模範水準：180kgce/t ✓ 基準水準：290kgce/t	
		粗銅の電解精錬（粗銅→純銅）	✓ 模範水準：85kgce/t ✓ 基準水準：110kgce/t	
		鉛製錬	粗鉛	✓ 模範水準：230kgce/t ✓ 基準水準：300kgce/t
			鉛の電解精製	✓ 模範水準：100kgce/t ✓ 基準水準：120kgce/t
			鉛製錬	✓ 模範水準：330kgce/t ✓ 基準水準：420kgce/t
		亜鉛製錬	乾式法：粗亜鉛 （亜鉛鉱→粗亜鉛）	✓ 模範水準：1,450kgce/t ✓ 基準水準：1,620kgce/t
			乾式法：亜鉛 （亜鉛鉱→精留亜鉛）	✓ 模範水準：1,800kgce/t ✓ 基準水準：2,020kgce/t
			湿式法（浸出残渣あり、亜鉛 鉱→電気亜鉛）	✓ 模範水準：1,100kgce/t ✓ 基準水準：1,280kgce/t
			湿式法（浸出残渣なし、亜鉛 鉱→電気亜鉛）	✓ 模範水準：800kgce/t ✓ 基準水準：950kgce/t
			湿式法 （酸化亜鉛→電気亜鉛）	✓ 模範水準：800kgce/t ✓ 基準水準：950kgce/t
		電解アルミニウム	✓ 模範水準：13,000kWh/t ✓ 基準水準：13,350kWh/t	
		★工業用 ケイ素	還元剤は木炭を中心	✓ 模範水準：2,500kgce/t ✓ 基準水準：3,300kgce/t
			還元剤は石油コークスと石炭 を中心	✓ 模範水準：2,700kgce/t ✓ 基準水準：3,500kgce/t
還元剤は石炭を中心	✓ 模範水準：2,800kgce/t ✓ 基準水準：3,600kgce/t			

※追加した分野・項目に「★」、エネルギー効率基準が変更した項目に「▲」を付ける。

（23年版基準に基づき、中国アドバイザー一部作成）

■ 直近の重要政策

以下、直近に公表された主な政策をお知らせ致します。

貿易政策

商務部、税関総署公告 2023 年第 23 号 ガリウム、ゲルマニウム関連品目に対する輸出規制の実施に関する公告

(原文: 商务部 海关总署公告 2023 年第 23 号 关于对镓、锗相关物项实施出口管制的公告)

商務部など 2023 年 7 月 3 日公表、8 月 1 日実施

【主要内容】

- 商務部は税関総署と連名で、半導体などの素材となるガリウムやゲルマニウムの関連製品を輸出規制の対象とする公告を公表した。公告は輸出管理法⁷などに基づいたものであり、23年8月1日より実施する。これにより、関連製品は政府の許可がなければ輸出できなくなる。
- 具体的な規制品目については、◇ガリウム（単体）やGaN、Ga2O3、GaP、GaAs、InGaAs、GaSe、GaSb、◇ゲルマニウム（単体）やゾーンメルト法により製造されたGeインゴット、ZnGeP2、エピタキシャル成長技術を利用したGe基板、GeO2、GeCl4などが挙げられる。
- 輸出事業者は省級の商務部門を通じ、商務部に対し、軍民両用品及び技術輸出許可の発行を申請し、①輸出契約、協議の原本もしくは原本と一致した複本、②輸出予定品目の技術説明もしくは検査報告書、③エンドユーザー及び最終用途に関する証明資料、④輸入事業者及びエンドユーザーの状況説明書、⑤申請者の代表者、主要経営管理者及び担当者の身分証明書を提出しなければならない。
- 国家安全に重大な影響を有する本公告に記載された品目の輸出について、商務部は関係部門とともに国務院に報告して承認を得る。
- 軍民両用品及び技術輸出許可の申請、発行、関連資料の保管年限などについては、商務部、税関総署令2005年第29号『両用品及び技術輸出入許可証管理弁法』に基づき実施する。

中国語原文は以下のリンクをご参照ください。

<http://www.mofcom.gov.cn/article/zwgk/gkzcfb/202307/20230703419666.shtml>

産業政策

『乗用車企業の平均燃費と新エネ車クレジットの並行管理弁法』の改定に関する決定

(原文: 关于修改《乘用车企业平均燃料消耗量与新能源汽车积分并行管理办法》的决定)

工業情報化部など 2023 年 6 月 29 日公表、8 月 1 日実施

【主要内容】

- 工業情報化部は財政部、商務部、税関総署、国家市場監督管理総局と連名で、改定後の『乗用車企業の平均燃費と新エネ車クレジットの並行管理弁法』を公表し、23年8月1日より実施するとした。20年版に比べ、主な変更点は以下の通りである。
- 動力別基準クレジットの計算方法と上限などを調整し、新エネ車のクレジットを約40%引き下げた。動力別基準クレジットの計算方法: ◇NEV=0.0034×R(航続距離)+0.2(従来は0.0056×R+0.4)。Rが100km未満の場合、基準クレジットは0。Rが100km以上、150km未満の場合、基準クレジットは0.6(従来は1)となる。上限は2.3(従来は3.4)。◇PHEV=1(従来は1.6)、◇FCV=0.05(従来は0.08)×P(燃料電池の定格出力、単位はkW)。上限は4(従来は6)。
- NEVのクレジットを計算する際のエネルギー密度調整係数を調整した。NEVのクレジット=基準クレジット×航続距離調整係数×エネルギー密度調整係数×電力消費調整係数。クレジットの引き下げは20年版に続いたものであり、新エネ車の製造などを更に促すことが目的である。
- この他、新エネ車クレジットを貯める「ポイントプール制度」の導入とポイントの取引円滑化などにも言及した。新エネ車プラスクレジット対平均燃費マイナスクレジット比率が2倍を超える場合、企

⁷ 関連内容は『みずほ中国 ビジネス・エクスプレス』第524号をご参照ください。下記のURLよりダウンロードできます。

⇒ <https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/world/info/cndb/express/pdf/R419-0576-XF-0105.pdf>

業は余った新エネ車プラスクレジットをポイントプールに貯めることが可能になる。この部分のポイントの有効期間は5年間とされる。新エネ車プラスクレジット対平均燃費マイナスクレジット比率が1.5倍を下回る場合、企業は貯めたポイントを使用することが可能になる。近年、燃費基準のWLTCモードへの変更に伴い、新エネ車プラスクレジットと相殺する平均燃費マイナスクレジットが減少することから、新エネ車のクレジットが余り、取引価格が低下傾向を辿ることも背景にある。

中国語原文は以下のリンクをご参照ください。

https://www.miit.gov.cn/zcfg/jdcjxl/art/2023/art_6facac0a0f534cfbbc65f9cf213ce33c.html

(各公開資料に基づき、中国アドバイザー一部作成)

【照会先】

担当者：中国アドバイザー一部 張巍

Tel : 021-3855-8888 (Ext : 1185)

E-mail : uei.zhang@mizuho-cb.com

政策の適用にあたり、具体的な実務手続き等については、所在地の主管部門または法律事務所等にお問い合わせください。

Copyright © 2023 Mizuho Bank (China), Ltd.

1. 本資料は法律上・会計上・税務上の助言を目的とするものではありません。本資料中に記載された諸条件及び分析は仮定に基づいており、情報及び分析結果の確実性或いは完全性を表明するものではありません。また、当行との取引においてご開示頂く情報、鑑定評価、各種機関の見解、また政策法規・金融環境等の変化によっては、本資料に記載の仮定やスキームと乖離が生じ、提示した効果が得られない可能性があります。本資料については、そのリスクを充分ご理解の上、貴社ご自身の判断によりご利用下さい。当行は本資料に起因して発生したいかなる損害について、その内容如何にかかわらず、一切責任を負いません。
2. 本資料中に記載された企業情報は、公開情報及び第三者機関から取得した情報に基づいて作成しており、当行が顧客との取引において知りうる機密事項や非公開情報等は一切含まれておりません。
3. 本資料中に記載された情報は、当行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。また、引用された出所元の資料及び文言に含まれる、または解釈される可能性のある意見や論評は、記載された出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。
4. 本資料の著作権は原則として当行に帰属します。本資料については貴社内部の利用に限定され、いかなる目的であれ、いかなる方法においても、無断で本資料の一部または全てを、第三者へ開示、または複写・複製・引用・転載・翻訳・貸与する等の行為について固く禁じます。